



第68期 中間報告書

平成26年4月1日～平成26年9月30日



北海道工場

おいしさ、ふれあい。
ピコリマルム

証券コード:2281

● 株主の皆様へ



株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、平素より格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、平成26年4月1日から平成26年9月30日までの当社グループの経営成績につきましてご報告申し上げます。

今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

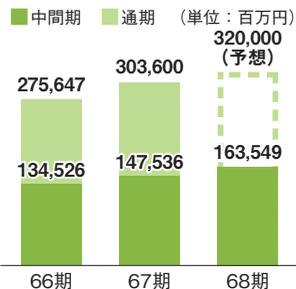
平成26年11月

代表取締役社長 松井鉄也

連結財務ハイライト

■ 売上高

1,635億円
(前年同期比10.9%増)



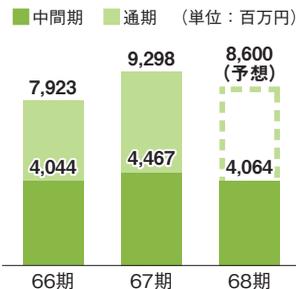
■ 営業利益

36億円
(前年同期比△9.2%減)



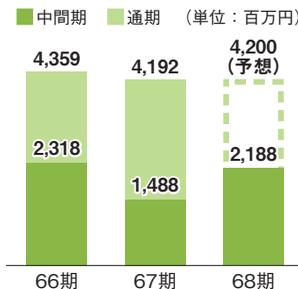
■ 経常利益

40億円
(前年同期比△9.0%減)



■ 四半期(当期)純利益

21億円
(前年同期比47.1%増)



※ 予想数値は、11月5日決算発表時で入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は、事業環境などの変動により、予想とは異なることがあることをご承知おきください。

上半期営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、4月からの消費税増税という環境下、景気の減速が懸念されましたが、企業収益の改善による賃金上昇、雇用環境の改善などが進むなか、消費者物価の上昇がみられるものの、個人消費は4月を底に回復傾向で推移しました。しかしながら、夏場以降天候不順に加え、人手不足や燃料費、原材料価格の上昇が顕在化し、更なる円安が進行する中、地域格差はあるものの一部消費者にとっては物価上昇が賃金上昇を上回り買い控えが表面化しており、企業環境や消費動向は先行き不透明な状況にあります。

当業界におきましては、食肉、ハム・ソーセージの消費は比較的堅調に推移するものの、低価格、節約志向は根強いものがあり厳しい販売環境となりました。また、コスト面においては食肉相場の高止まりによる仕入商品・原材料価格の高騰、包装資材、ユーティリティ価格の上昇など事業環境は引き続き厳しい状況が継続しました。

このような状況のなか、当社グループは「健康で豊かな食生活を創造するために安全・安心な商品を提供し、社会と食文化の発展に貢献していく」という基本的な考えのもと、諸施策に取り組み収益の確保に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は1,635億49百万円(前年同期比10.9%増)、営業利益は36億76百万円(同9.2%減)、経常利益は40億64百万円(同9.0%減)、四半期純利益は21億88百万円(同47.1%増)となりました。

セグメント概況

● 加工食品事業本部

〈ハム・ソーセージ部門〉

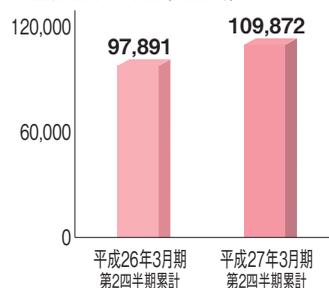
ハム・ソーセージ部門においては、「香薫あらびきポークウインナー」をはじめとする重点コンシューマー商品の拡販、中食・外食向け業務用商品においては確かな商品開発力と連動して、数量、客先の拡大に注力しました。生産面におきましては、厳しいコストアップの環境下にありましたが、引き続き生産性向上に取り組みコスト競争力アップに努めました。生産、販売一体となった取組みの結果、ハム・ソーセージ部門においては、売上高、販売数量とも前期を上回る結果となりました。

〈加工食品部門〉

加工食品部門におきましては、多様な客先、ニーズに応えるべく開発、営業一体となって取組み、コンビニエンスストア向け商品を中心に引き続き好調な伸びとなりましたが、ベンダー事業における新工場（愛媛県新居浜市、愛知県豊田市）の稼働による初期費用の発生や、製造原価のアップにより前期を下回る利益となりました。

以上の結果、加工食品事業本部における売上高は、1,098億72百万円（前年同期比12.2%増）となり、セグメント利益は30億2百万円（同26.9%減）となりました。

加工食品事業本部（売上高）（単位：百万円）

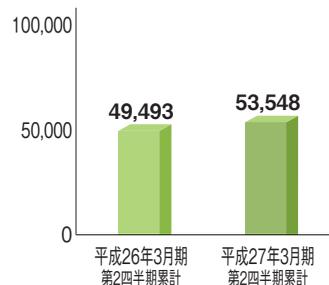


● 食肉事業本部

食肉相場はおおむね前期を上回る水準で推移しました。牛肉は和牛を中心に減産が見込まれることから高値で推移し、豚肉も米国や国内で発生した豚の疾病（PED）による出荷頭数減もあり、一時高止まりの状況となりました。こうした環境下、引き続きオリジナルブランド商品の拡販、得意先の新規・深耕開拓による販売数量増に努め収益の改善を図りました。

以上の結果、食肉事業本部における売上高は、535億48百万円（前年同期比8.2%増）となり、セグメント利益は7億20百万円（前年同期は53百万円のセグメント損失）となりました。

食肉事業本部（売上高）（単位：百万円）



● 中期経営計画

- 「なくてはならない会社」を目指し、総合的な営業力強化により、収益の基盤となる売上拡大を具現化し、将来的に売上高および利益水準を2010年度比の2倍規模のグループとする。
 中期経営計画は、事業年度の進捗を反映させた3ケ年のローリングプランとする。



成長戦略

流通サイドへの付加価値を加えたサービスの提供・販売

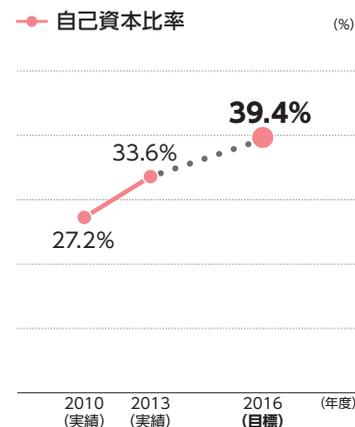
- プロセスセンターの拡大

伊藤忠グループ内の連携・協業の推進

- 伊藤忠飼料(株)との業務提携の推進
- 相互業務内容の連携による営業・顧客戦略の共有(協業機会の創出)
- 海外におけるハム・ソーセージ、加工食品事業の展開

■ 連結損益 中期経営計画(ローリングプラン)

(億円)



	2010年度 (実績)	2013年度 (実績)	2014年度 (計画)	2015年度 (計画)	2016年度 (計画)
売上高	2,510	3,036	3,070	3,160	3,240
営業利益	67	88	82	94	104
経常利益	70	92	86	96	106
当期純利益	31	41	40	55	59

(注) 実績値は1億円未満切り捨て

● 連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別		科目	期別	
	前期末 平成26年3月31日現在	当第2四半期末 平成26年9月30日現在		前期末 平成26年3月31日現在	当第2四半期末 平成26年9月30日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	51,814	57,728	流動負債	50,275	58,744
現金及び預金	8,672	5,118	支払手形及び買掛金	32,303	40,242
受取手形及び売掛金	29,520	33,471	短期借入金	961	881
商品及び製品	9,937	14,721	1年内返済予定の長期借入金	3,514	3,276
仕掛品	362	412	未払法人税等	2,524	1,938
原材料及び貯蔵品	1,350	1,631	賞与引当金	1,195	1,257
繰延税金資産	726	684	役員賞与引当金	45	—
その他	1,250	1,695	その他	9,731	11,148
貸倒引当金	△6	△6	固定負債	21,678	24,619
固定資産	67,447	75,682	長期借入金	11,523	12,126
有形固定資産	52,094	57,112	退職給付に係る負債	4,378	4,038
建物及び構築物(純額)	20,802	24,321	資産除去債務	112	255
土地	18,316	18,051	その他	5,663	8,198
その他(純額)	12,975	14,740	負債合計	71,953	83,363
無形固定資産	844	806	純資産の部		
投資その他の資産	14,507	17,763	株主資本	36,178	38,349
投資有価証券	5,464	5,805	資本金	3,363	3,363
退職給付に係る資産	3,893	6,593	資本剰余金	3,964	3,964
その他	5,723	5,831	利益剰余金	28,923	31,151
貸倒引当金	△573	△466	自己株式	△73	△130
資産合計	119,261	133,411	その他の包括利益累計額	3,908	4,507
			その他有価証券評価差額金	1,170	1,370
			繰延ヘッジ損益	△10	13
			土地再評価差額金	2,287	2,301
			為替換算調整勘定	42	204
			退職給付に係る調整累計額	418	617
			少数株主持分	7,220	7,190
			純資産合計	47,307	50,047
			負債純資産合計	119,261	133,411

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	前第2四半期	当第2四半期
		自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成26年4月1日 至平成26年9月30日
売上高		147,536	163,549
売上原価		124,437	139,724
売上総利益		23,099	23,824
販売費及び一般管理費		19,051	20,148
営業利益		4,047	3,676
営業外収益		619	596
営業外費用		199	208
経常利益		4,467	4,064
特別利益		136	276
特別損失		803	296
税金等調整前四半期純利益		3,799	4,044
法人税等		1,640	1,856
少数株主損益調整前四半期純利益		2,159	2,187
少数株主利益		671	△0
四半期純利益		1,488	2,188

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	前第2四半期	当第2四半期
		自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成26年4月1日 至平成26年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー		2,816	3,090
投資活動による キャッシュ・フロー		△4,391	△6,120
財務活動による キャッシュ・フロー		△1,374	△591
現金及び現金同等物に係る 換算差額		17	38
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)		△2,931	△3,582
現金及び現金同等物の 期首残高		8,535	8,240
現金及び現金同等物の 四半期末残高		5,603	4,658

成長に向けた投資

プライムデリカ(株)の新工場完成

プライムデリカ(株)はお客様先様の四国地方での店舗展開にあわせて、2014年3月に愛媛県に新居浜工場、さらに、2014年9月には、お客様先様の中京・北陸地区の店舗拡大に対応すべく、愛知県に豊田第二工場を建設しました。最新鋭の調理設備のもとフレッシュで美味しい商品を提供してまいります。



新居浜工場



豊田第二工場

中国での製造・販売事業スタート

中国の合弁会社「康普(蘇州)食品有限公司」において、ハム・ソーセージ製造・販売事業の拠点となる工場が完成しました。生産される商品は上海エリアを中心に販売され、当社にとっては中国国内事業の第一歩となります。



康普(蘇州)食品有限公司



川上事業の強化(食肉加工場の拡充)

(株)かみふらの工房は食肉処理加工場を新設するとともに、最新鋭設備を導入し、処理能力が向上しました。品質管理および環境への取り組みについても更に強化され、地場原料を活用した地産パック商品など生産拡大を図ってまいります。



(株)かみふらの工房



産地パックライン

鹿児島工場併設の食肉加工工場を建設中です。先端設備を導入する新工場は生産能力が1.5倍に拡充され衛生面でも業界を牽引する施設を目指すとともに、国産豚肉の対応強化を図ってまいります。



鹿児島工場併設の
食肉加工工場
(建設中)

ステークホルダーの皆様へ

株主優待制度導入

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの方々に長期的に当社の株式を保有していただき、当社の事業に対するご理解をより深めていただくことを目的に、この度株主優待制度を導入しました。対象となる株主様には、自社製品3,000円相当を11月下旬に発送させていただきます。

対象となる株主様

毎年9月30日現在の株主名簿に記載された、1単元(1,000株)以上保有されている株主様



東京ディズニーシー® 貸切イベントご招待

春の全国キャンペーンでは当選されたお客様を東京ディズニーシー®を貸切る「スペシャル・ナイト」にご招待しました。

今後も東京ディズニーランド®、東京ディズニーシー®のオフィシャルスポンサーであることを認知していただくとともに、様々な消費者キャンペーンを展開してまいります。



【食育サポート】で、 小学校の学習を応援

食育活動の一環として、小学校の「総合的な学習の時間」で活用していただける食育教材(独自開発)を提供するほか、出前授業も受付し実施しております。



● ホームページのご紹介

■ ホームページをご活用ください。 ■

<http://www.primaham.co.jp>



当社では、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションの充実を大切にしています。今後とも、ステークホルダーの皆様にとって有益な情報をタイムリーに提供していきますので、プリマハムのホームページを是非ともご利用していただきますようお願い致します。

会社の業績を知りたい・・・

株主・投資家の皆様へをクリック！



決算ハイライト

通期および四半期ごとの業績が表とグラフで一目でわかります。





2 食品安全への取り組みを知りたい・・・
 食品安全への取り組みをクリック！



食品安全方針、皆様の食卓に商品が届くまでのプロセスや、アレルギー表示、原料の原産地表示、食肉トレーサビリティなどの情報を開示しています。

4 プリマハムの事業活動を知りたい・・・
 企業情報→社会・環境活動ををクリック！



「社会・環境報告書」にはトップメッセージからCSRを通じた事業活動を紹介しています。

3 商品情報を知りたい・・・
 商品情報をクリック！

商品ラインナップがご覧いただけます。



商品の特長、栄養成分、アレルギー物質、原料の原産地などの詳細情報がご覧いただけます。

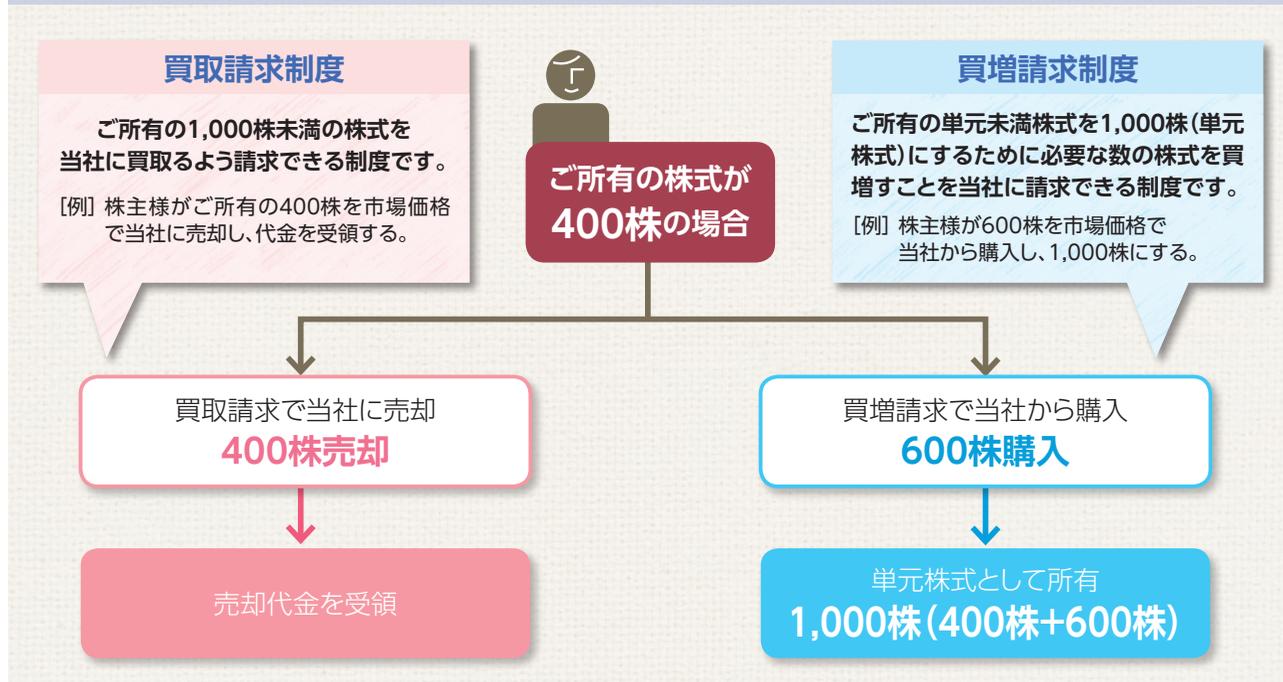
● 株式に関するお知らせ

単元未満株式の買取・買増請求制度のご案内

当社の単元株式数は1,000株となっております。1株から999株の単元未満株式につきましては、証券市場で売買できない、株主総会で議決権を行使できないなどの制約がございます。

当社では単元未満株式の「買取請求制度」および「買増請求制度」を採用しておりますのでご案内申し上げます。

■単元未満株式の買取・買増請求制度の概要



(ご注意)

1. 単元未満株式の買取・買増請求のお手続きにつきましては、単元未満株式が証券会社等の口座に記録されている場合はお取引口座のある証券会社等に、特別口座に記録されている場合は後述の特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。
2. 中間および期末などの基準日の権利確定前一定期間ならびに受付停止期間が設定された場合は、買取・買増請求の受付を停止させていただきますのでご承知おき下さい。
3. 買取・買増請求制度のご利用にあたっては、当社所定の手数料をご負担いただきます。
4. 特別口座以外の口座管理機関(証券会社等)でお手続きされた場合、取次手数料を請求される場合がございます。

特別口座をご利用の株主様へのご案内

特別口座とは、株券電子化移行時に株券をほふり（証券保管振替機構）に預託しなかった株主様のために、当社が三井住友信託銀行に開設した口座です。

特別口座に記録されている株式は、証券市場では売却ができません。
株式に係るお手続きを容易にするためにも、証券会社に口座を開設し、特別口座からの振替を行ってください。

■特別口座から証券会社の口座への振替のお手続き（**1** **2** **3** がお手続きの順番となります）



（ご注意）

1. **2** のお手続きにつきましては、下記の特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。

特別口座の口座管理機関

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-782-031（フリーダイヤル）

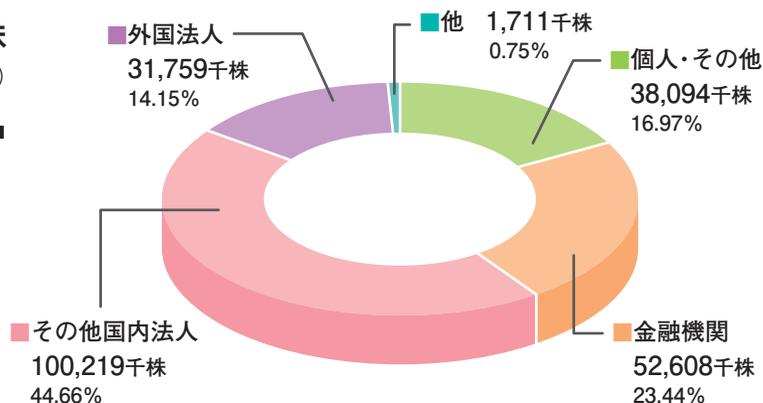
2. すでに証券会社等に口座をお持ちの場合、**1** のお手続きは必要ございません。

株式情報(単体)

(平成26年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 **350,000,000株**
- 発行済株式総数 **224,392,998株**
(自己株式841,523株)
- 株主数 **17,161名**

● 所有者別株式分布状況



● 大株主

大株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
伊藤忠商事株式会社*	88,330	39.36
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	11,254	5.01
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,592	3.38
三井住友信託銀行株式会社	4,613	2.05
学校法人竹岸学園	4,541	2.02
株式会社サンショク	4,000	1.78
株式会社みずほ銀行	3,832	1.70
農林中央金庫	3,565	1.58
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託B口)	3,096	1.37
THE CHASE MANHATTAN BANK N.A. LONDON SECS LENDI NG OMNIBUS ACCOUNT	2,917	1.29

(注) *印の株主は、発行済株式(自己株式を除く)の総数の10分の1以上の株式を保有しています。

会社概要

(平成26年9月30日現在)

■ 会社概要

商号	プリマハム株式会社 Prima Meat Packers, Ltd.
本社	〒140-8529 東京都品川区東品川4丁目12番2号 TEL:03-6386-1800
代表者	代表取締役社長 松井 鉄也
事業内容	ハム・ソーセージ、食肉および 加工食品の製造販売
創業	昭和6(1931)年9月1日
設立	昭和23(1948)年7月9日
資本金	33億63百万円
従業員数	2,079名
支店等	東北支店(宮城)・東京支店・中部支店(愛知)・ 関西支店(大阪)・中四国支店(広島)・九州支店(福岡)
工場	北海道工場・茨城工場・三重工場・鹿児島工場
物流センター	関東物流センター(茨城)・三重物流センター・ 福岡物流センター 他4ヶ所
研究機関	基礎研究所(茨城)・生産技術開発部(茨城)
グループ会社	31社 連結子会社 28社 持分法適用関連会社 3社

■ 役員

代表取締役社長	松井 鉄也
専務取締役	大森 雅夫
常務取締役	前田 茂樹
取締役	矢野 雅彦
取締役	辻 真二
取締役	内山 高弘
取締役(社外)	山下 丈
常勤監査役	岩下 誠
常勤監査役(社外)	奥平 博之
監査役(社外)	江名 昌彦

株 主 メ モ

事 業 年 度
定 時 株 主 総 会
基 準 日

4月1日から翌年の3月31日まで
毎年6月に開催いたします。

定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当金 3月31日

その他、必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

単 元 株 式 数
株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関

1,000株
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

お問い合わせ先・郵便物送付先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
- ・未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

公 告 の 方 法

電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行う。



フ。リマ。ハ。ム 株 式 有 限 公 司

東京都品川区東品川4丁目12番2号 品川シーサイドウエストタワー 〒140-8529
電話 03-6386-1800
<http://www.primaham.co.jp/>

